

本日の  
プログラム

## 年男の弁

### 会長年頭挨拶 和田一仁 会長

札幌東RCの皆さま、またクラブ運営を支えてくださる札幌パークホテルの皆さま、渡部先生、事務局の塩谷さん、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

まず、元日に石川県の能登半島を中心に発生した能登半島地震により亡くなられた方々、そして親族の方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地の石川県と富山県にまたがる第2610地区には64のクラブが所属しています。珠洲市にも輪島市にも能登にもクラブがあり約300人余りのロータリアンが所属されているようです。同じロータリアンとして皆さんとご家族のご無事と一刻も早く職業人として再起活躍されることを祈念します。また、2日には新千歳発のJAL516便が羽田着陸の際、震災支援で新潟に向かう海上保安庁の航空機と衝突し、JALの乗客乗員379人は奇跡的に全員脱出しましたが、海上保安庁機の5人の方々が殉職されました。とても痛ましい事故に心が痛みます。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、事故で怪我をされた方々、精神的にダメージを受けた方々の回復を願います。

こうして大きな災害から始まった新年をお迎えになりましたが、昨年にもまた混迷時代といわれるような厳しい多重変化の多い年でした。日本の美しい四季の原風景が崩れ、四季ではなく二季に近く感じます。春・秋は短く、夏は暑くて史上最高温度。本州では11月になっても夏日で、向日葵とコスモスが同時に咲いているのが見られるという珍現象でした。この異変は日本だけでなく、世界各地で熱波による山火事が発生しました。また、激しい降雨で大水害になり、被害も続出しました。エルニーニョ現象と言われますがそれだけで片づけられるのか大いに疑問です。ロシア・ウクライナ戦争も2年近くになり、また、イスラエルとハマスの間で戦争が勃発しました。戦争の被害者は当事国の国民であり、世界の人々は出口の見えない戦争に、不安と焦燥感を受け続けることになっています。

このような状況をロータリークラブの創立者ポール・ハリスはどう考えるのでしょうか？今は便利なものでネットでググると1940年に「私たちはこう問います。最も優れた人間の才能を戦争のための科学に捧げなければならない



のに、戦争を回避するための科学には捧げないのか、と」また、1945年には「戦争にいたる道は、よく舗装されたハイウェイです。平和への道は、未だに茨の道です。しかし、国連は不可能に挑んでいるのでしょうか？そうではないと私は断言します」と語っています。一向に変わらないこの現実を私たちは現実を直視せず言葉だけで終わっていいものでしょうか？

さて、私の年度も折り返し地点となりました。夏の納涼家族会、年末家族会の大きなイベントを終え、例年であれば残り半年を淡々と進めるところ、3月の65周年記念、IMと外部に対する大きな行事が待っています。皆様の、一層のご協力のご理解をお願いする次第です。今年度は、新型コロナウイルスによる数年にわたる規制が緩和されようやく暮らしにも平穏さが戻り、人流も回復し経済も回り始めました。それと同時に、一時は対米ドル150円を超える円安、人手不足による人件費の上昇、コストプッシュ型の悪性インフレが続きました。未だ景気が回復していないにも関わらず、政財界では増税論議や社会保険料のステルス値

■本日のロータリーソング

### 我等の生業

2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ

### 「世界に希望を生み出そう」

国際ロータリー会長：ゴードンR.マッキナリー



上げ、お一人お一人が優れた職業人の皆さまもその組織や従業員の方々の待遇や処遇に悩んだことではないでしょうか？

そんな中で、会費を上げさせていただきました。今の例会数を維持しながら、札幌パークホテルという皇族や海外要人も宿泊されるこのホテルで、例会を維持し皆さまに喜んでいただける食事やホテルの対応を希望するには会費の値上げに踏み切らざるを得ませんでした。一方、例会数を減らして値上げを抑制せよとのご意見もあります。ロータリーの真髄は例会出席にありと私は考えます。例会数を減らしていくと奉仕の理想を学ぶ場が減ってしまい、私のような能力のない者にはただの異業種交流会となってしまいます。会員の成長の場が損なわれ、それはRCの否定にも繋がると考えます。例会出席により会員同士が親睦を深めその言葉や立ち居振る舞いや努力、歴史に感化され、心が洗われて自分自身の心を磨き、自分の職場で奉仕の理想を実践した翌週に例会出席をして反省し振り返る。その機会が失われていくことは自分自身を磨く機会が失われるのと同じです。私の年度では想像もできないことです。また会費値上げに関して、長年の潤沢な繰越金の利用も考えましたが、いざというときのお金でありまた浄財であることのご意見もあり、皆様の受益者負担的な値上げをお願いした次第です。ご理解をいただき本当にありがとうございます。

ただ、このいざとか浄財と言う言葉が一人歩きすることにとっても危機感を覚えます。その言葉には会員の共通理解になる具体的な要件がないのです。いざを例にとれば今回能登半島での震災は同じロータリアンの仲間が苦しんでいるのだから全ての繰越金を支援に回すべきだと言う意見が出たら何と答えましょう？浄財であればそれを積み重ねた物故会員の意見をお聞きしなければ1円たりとも使うこともできません。私は残り半年の間にわが札幌東RCの将来を策定する未来戦略委員会でその要件を是非とも審議して言葉の定義や意義を明らかにして欲しいと考えます。

私見ですが、日本という国はいつの間にか、モノやサービスの価値を正しく見るのではなく、何でもかんでもコストパフォーマンスが善であるというような風潮になっているような気がします。無駄や余計なものをくっつけて価格を釣り上げるようなことは論外として、品質やサービスの良し悪しや長年培われてきたブランドを無視してなんでもかんでも安く安くというのはいかがなものか？一流のレストランで相応のサービスを受けていて、ファストフードの料金しか考えないのでしょうか？ベンツやレクサスの性能や品質を要求して、軽四輪の予算しか組まないのでしょうか？優れたサービスや品質、信頼性を提供している人間を蔑ろにした風潮に疑問を持ちます。私は伝統や格式や高いサービスそして高い信頼性や品質にはそれ相応の対価があつて然るべしと思います。今までこのホテルでの安価な価格設定は長年私たちの先輩方がホテルを愛顧し続けてきたからです。でも、ロータリーにおいて代替わりして事務的なやり取りでは長続きすることではなくいつの間にかサービスの低下をきたします。さらに、安く安くを続けているとその皺寄せは働いてい

るホテルの従業員さんに及びます。奉仕を通じて人を幸せにしようとする私たちがそんな行動をとっていいのでしょうか？ロータリアンという社会から認められそれ相応の評価がある私たちが自分たちのために他を犠牲にして良いものでしょうか？ロータリアンは自分の職業を通じて社会に貢献し、更にロータリーの学びを通じて世のため人のために成長拡大して、そこで得られる利益を従業員や社会に還元するのが理想であると思います。そのために例会や様々な活動を通じて自分自身を成長させてくれるのがRCだと考えますがいかがでしょうか？随分青臭い書生じみた話で申し訳ありません。わずか半年ですが会長職をやらせていただきながら、このように感じた次第です。どうか、皆様からのご意見やご指導を頂ければ後の半年乗り越えられます。よろしくお祈りします。

さて、本年は「甲辰(きのえたつ)年」です。十二支の中で「辰」は唯一の架空の生き物で、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす、大自然の躍動を象徴するものであり「龍が現れると、めでたいことが起きる」と伝えられています。辰年は、政治の大きな変化が起こる年です。戦後5回しかない辰年のうち、3回は総選挙が行われました。岸田政権も今年、信が問われます。その他の主なできごとでは、1868年戊辰戦争、1904年日露戦争と大きな戦争が起こりました。今はロシア・ウクライナ戦争、そしてイスラエル・ハマス戦争が1日でも早く終結することを願うしかありません。また、1952年血のメーデー(皇居前でデモ隊と警察が衝突し、1500名が死傷)、1964年東京五輪開催・東海道新幹線開業、1988年青函トンネル開通・瀬戸大橋開業、2000年二千年札発行と大きなできごとが多く、まさに動乱の年です。一方、2000年シドニー五輪で高橋尚子さんが女子マラソン史上初の金メダルを獲得し田村亮子さんは女子柔道史上初の金メダルを獲得しました。日本は、過去最高の18個のメダルを獲得しました。2012年京都大学の山中伸弥氏がIPS細胞を発見し後にノーベル生物学・医学賞を受賞しました。

こうして努力した成果が実を結ぶようなできごとが多く起こる年でもあります。努力してきた成果が報われる年でもあります。哲学者であり教育者であった森信三先生の晩年の言葉に「2025年、日本は再び甦る兆しを見せるであろう。2025年になったら、列強は日本の底力を認めざるを得なくなるであろう」

2025年は来年です。森先生がおっしゃるような兆候はまだ見えませんが2025年、日本は底力を発揮して世界から賞賛される国になって欲しいという願いを込めて、日本人に希望を与えてくれる言葉です。でも一方、20年ほど前ですが、ある国の要人がこんな言葉を残しています。「21世紀の半ばには、日本は地球上から消えている」

この言葉に、なんと無礼な、と義憤を覚えますが、最近イーロン・マスク氏もこう発言しています。「出生率が死亡率を上回るような変化がなければ、日本はいずれ消滅する。世界にとって大きな損失だが」

日本をどちらの国にするのか、です。その鍵を握っているのは私達日本人自身です。どうか残り半年、よろしくお祈りいたします。

## 黙祷

矢橋潤郎パストガバナー、能登半島地震で亡くなられた方に黙祷を捧げました。



## 第3070回 1月11日(木) 例会記録

## ■ 司会

和田一仁 会長

## ■ ゲスト

北海道大学大学院工学院博士後期課程2年 岡田夏男 さん

北海道大学博士後期学生(エチオピア出身)

アングソム・ゲブラツァディク・アブラハ さん

米山奨学生 段 開峰 さん

## ■ ビジター

市内1名(札幌西1名)

## ■ 出席率

会員数109名 欠席30名 出席規定除外 7名 70.59%

## ■ 12/14 出席率

会員数109名 欠席18名 出席規定除外 7名 82.35%

## 会長報告

①矢橋潤一郎会員よりご挨拶。新年の例会に父逝去のご報告で恐縮です。区域限界が厳しい時分に、父は同業他社がいた札幌西RCへの入会が難しかった中、ようやく入会できた当時私は小学生でしたが、喜んでいてのを覚えています。2008-2009年度にガバナーまで務め上げ、いい人生だったと羨ましく思います。当クラブでも大変お世話になりました。葬儀は行わず、お気遣い等のご遠慮しております。

②米山奨学生 段開峰さんに奨学金をお渡し致しました。

③札幌もいわ会もいわ荘の施設の改築に際し、先日伏木幹事がお祝いをお届けしましたところ、施設長の猪狩様よりお礼状が届きました。コロナで中止が続いていますが、当クラブの社会奉仕事業「月寒川にぎわい川まつり」に、もいわ荘の皆様をご招待しております。

④北海道大学大学院博士後期課程の岡田夏男さんとアングソムさんよりご挨拶。

岡田夏男さん/後輩でエチオピアのアングソムさんをご紹介します。29歳で既婚、生後2か月の子供がいます。エチオピア政府とご家族が住む州が内戦状態にあり、奨学金等が受け取れず大変苦しい状況です。何とかお力添えを頂きますと幸いです。

アングソムさん/エチオピアは農業、畜産を主な産業としていますが最貧国の1つで同国の経済発展には鉱工業の振興が重要です。大学では鉱物資源の研究をしています。家族を養う責任がありますが、2020年からエチオピアでは内戦が起きていて、家族は内戦地域に取り残されたままとなっています。お力添えを頂きますとありがたいです。

## 委員会報告

①小山記念講演会委員長より、創立65周年記念講演会のご案内です。本日レターBOXに記念講演会のチラシを投函いたしました。講師は経済評論家の三橋貴明氏です。会員皆様のご参加はもとより、是非多くの方をお誘い合わせの上お申し込みください。また、新年会等各種会合での告知のご協力もお願いいたします。

## 幹事報告

①ロータリー財団の寄付金について、12月14日の例会時、入金一覧表記載金額より多い現金の受領があったことが判明しました。一覧表への記入漏れ等の可能性が予想されますので、寄付をされた会員の皆様におかれましては当クラブ発行の領収書記載金額と寄付金控除を受けるための証明書記載金額をご確認ください。差異があった場合には幹事又は事務局までお申し出ください。寄付金控除のための証明書は1月末頃に届く予定です。

②本日例会終了後、3F高砂に於きまして、第7回定例理事会を開催致しますので、理事・役員の方はお集りください。



## たくさんのご報告ありがとうございます ニコニコBOX

## 札幌西RC 伏木 淳 会長

いつもお世話になります。本年もよろしくお願ひいたします。無事に初孫の姫が産まれました。母子共に元気にしております。この上は、早く大きくなってもらって北海高校インターアクト部に入学してもらいたいと願っております。

伏木 進 (1)和田会長年度の下期がはじまりました。皆様よろしくお願ひいたします。

(2)青学箱根駅伝の優勝を祝して。昭和42年生まれのススムは流石です。

吉山八郎 昨年は12月卓話をさせていただき有難うございました。本年もお世話になります。宜しくお願ひ致します。

青木功喜 誕生祝い、ありがとう。

土谷令次 今年もよろしくお願ひします。

福見隼人 本年も宜しくお願ひ致します。

細井 清 12月の例会には、一度も出席できませんでした。

沖田俊弥 ①お誕生日のお祝い、ありがとうございます。

②本年もよろしくお願ひします。

藤原昌彦 年末からダイハツが世間をお騒がせし、ご迷惑・ご心配をおかけしております。先ずはお詫びいたします。



## The memorial day 今週のお祝い

誕生日 遠藤正史、村田千尋、渡辺哲則、齊藤博之  
関根光晶

結婚記念 山下陽一

入会記念 野村昭光

会社創立 梅澤英行、布施光章、矢橋潤一郎、不動直樹



## 市内他クラスのプログラム 1月19日~1月25日

19日(金) 札幌 南 「年男・年女の弁①」

19日(金) 札幌ライラック \*毎月第1週と第3週の開催

20日(土) 札幌 手稲 「職業奉仕プログラム」

22日(月) 札幌 南 「次の誰かのために」

(株)創伸建設代表取締役 岡田吉伸氏

22日(月) 札幌 北 「ゲスト卓話」

ワイナリー「ドメーヌ結」代表取締役 杉山彩氏

23日(火) 札幌 西 「新入会員卓話」

23日(火) 札幌はまなす 未定

23日(火) 札幌 清田 「クラブ・フォーラム」\*原則として第2週と第4週の開催

23日(火) 札幌大通公園 \*毎月第1週と第3週の開催

24日(水) 札幌モーニング 「地区出向者報告②」

24日(水) 札幌 「職業奉仕月間に因んで」

地区ガバナー/ミニー 玉井清治氏

24日(水) 札幌真駒内 「会員卓話」

24日(水) 新札幌 「新年会」

25日(木) 札幌 西北 「年男・年女の新年の抱負」

\*1月16日現在の情報です。今後、変更になる可能性もございます。

◆ 例会場/札幌パークホテル TEL 511-3131

◆ 例会日/毎週木曜 12:30

● 会長/和田一仁 ● 幹事/伏木 進 ● 会報委員長/大越誠之  
■ 事務局/札幌市中央区北2条西3丁目 敷島ビル812  
TEL 011-231-1297 FAX 011-222-2744  
URL <https://ri.sapporo-east.net/>

次回 第3072回 例会予報 1月25日(木)

## 職業奉仕について

地区職業奉仕委員長 長田正文氏